

NITTAIDAI MUNICIPALITY FORUM 2022

To the next...

日体大と自治体の挑戦は、これからも続いていきます

体育・スポーツ・健康づくりの交流で
地域を活性化する

NITTAIDAI

学校法人日本体育大学
法人事務局 総合企画部

TEL:03-3704-5203 FAX:03-3704-3342

NITTAIDAI × **自治体**
フォーラム2022

2022年11月18日 **金**

開催時間・16:00~20:00

会場:帝国ホテル 東京 本館中2階 光の間

学校法人日本体育大学とともに、これからの「体育・スポーツ・健康づくり」を語り合い、学び合う

日本全体の人口減少や少子高齢化、厳しい財政事情とともに、経済のグローバル化の進展や新興国の台頭など、世界経済の環境変化が著しい昨今、「地方再生・創生」は国が掲げる重要課題です。

学校法人日本体育大学が地方自治体と手を取り合い、体育・スポーツを通じた地域活性化に取り組み、はや8年。コロナ禍の状況を鑑み、3年ぶりにフォーラムが開催されました。

式次第	16:00 開会	
	16:05 理事長挨拶	学校法人日本体育大学 理事長 松浪 健四郎
	16:10 学長挨拶	日本体育大学 学長 石井 隆憲
	16:15 セミナー	1 基調講演 鹿児島県始良市 市長 湯元 敏浩 氏 2 事例発表 日本体育大学 教授 伊藤 譲 3 地域移行に向けた地域スポーツ指導者について 日本体育大学 教授 伊藤 雅充 / 准教授 岩原 文彦 / 助教 矢野 広明
	17:25 協賛企業説明	東武トップツアーズ株式会社 取締役営業統括本部長 濱崎 真一 氏
	17:40 特別講演	自由民主党 衆議院議員 二階 俊博 氏



理事長挨拶

我々はコロナを乗り越え
さまざまな社会問題に立ち向かう

コロナによってさまざまな社会問題が生じています。昨年生まれた子供は81万1,604人。今年、上半期は40万人を割り込みました。高齢化も進み、介護施設ができてもお年寄りの世話をする人がいない。日本人では人手が足りず、海外技能実習生で補う。ですが、国家資格である介護福祉士は、そう易々と増やせるわけではありません。さらにコロナ禍の影響で、がん定期検診を受ける人が少なく、毎年、100万人のがん患者が見つかったにもかかわらず、去年は50万人に留まりました。減った50万人はどこへ？そして今、文部科学省スポーツ庁は、中学校の部活動の民営化を進めています。しかしどのように指導者を認定するのか決めかねています。いずれにしても、いかにして子供たちに夢を与え、そして大人たちの健康を維持・増進させるかということと皆さんと一緒に研究をしていきたいと思っております。そして、少しでも日本体育大学が皆さまのお役に立てればありがたいと思っております。今年には学制発布150年を迎えました。我々は先人の期待に応えるべく、優秀な人材、健康で強い人材を育ててまいります。



学校法人日本体育大学 理事長
松浪 健四郎

学長挨拶

日本体育大学の人的資源、知的資源を
広く社会に資するために



日本体育大学 学長
石井 隆憲

大学が行う社会貢献活動は、5つに分類することができるのではないのでしょうか。1つ目は、自治体との連携事業。これまで培ってきた教育や研究に関する知的資源を何らかの形で提供しながら、自治体と一緒に活動するというものであります。2つ目は、産官学連携。企業やスポーツ庁などからの委託事業を受け、連携して新しい知見を見出していく活動です。3つ目はボランティア活動の支援です。本学の学生や教職員が、ボランティア活動を通して地域社会との交流を図っていきます。4つ目は本学ならではの授業。スポーツや体育、あるいは健康指導、生涯学習と関連するような活動をけん引すべく取り組んでいます。そして最後はSDGsへの貢献です。大学の中で非常に望まれていることであり、社会の要求に応えていこうとしているところです。こうした分類に収まらないような多彩な取り組みを含めて、活動の根本には、本学が持つ人的資源、知的資源、本学が得意とする実践的な知識、そうしたものを十分に皆様にご提供でき、活用していただければと考える所存です。



基調講演

大学と連携を取りながら 教育、健康福祉に力を入れていく

鹿児島県始良市 市長
湯元 敏浩 氏

始良市は、鹿児島県中央部に位置し、平成22年に3つの町が合併して誕生した鹿児島県内で最も新しい町です。住みやすい町として人気が高まっており、県内で唯一人口が増え続けています。日本体育大学とは平成28年に自治体連携協定を締結し、体育連携推進事業を行っております。これまで男子剣道部の古澤伸晃監督による指導者向け指導法研修会や生徒・学生への実技指導講習会を実施。令和4年度には、保健医療学部整復医療学科の伊藤譲教授らをお迎えして健康体操教室を開催し、腰痛や膝の痛み解消のためのセルフチェックや効果的ストレッチ方法を学びました。関連事業としては、オリンピックメダリストによる講演やシンポジウムも行われ、たくさんの夢と感動をいただくことができ

ました。さらに、健康寿命を延ばすための健康づくりの取り組みも行っております。その一例が「あいら塩塩プロジェクト」。適度な塩分摂取で高血圧ゼロを目指す運動を実施しており、官民一体で健康寿命の延伸に取り組み、医療費適正化を図っています。始良市では市外への進学や就職などにより、15歳～24歳人口が減少しているという課題があります。なんとか地元定着を促すために、教育から就職までを市内で完結できるような環境づくりに取り組んでおり、専門部署を設置して市内の学校開設を模索しているところです。これからも始良市は日本体育大学と連携を取りながら、教育、健康福祉に力を入れてまいります。

事例発表

健康への意識と運動能力の基礎を高め、 活力あるまちづくりに貢献

日本体育大学 教授
伊藤 譲
※高知県よりオンラインで参加

日本体育大学に、スポーツキアセンターが誕生して7年が経過しました。本施設はアスリートの治療をメインにしていますが、近年では一般患者の利用も増えてきました。というのも、私たちはアスリートの治療によって得たデータを、一般患者に還元することに力を注いできたからです。また、公開講座として、子供と高齢者を対象とした健康体操教室も実施しています。これは、自治体の要望に応じて本施設のスタッフを派遣する形をとっており、正しい体操方法を広く社会に伝えることを目的としています。運動は、正しい方法を知らないと長続きしません。正しい方法をとれば体の動きが良くなり、軽くなるといった感覚が得られます。それ

には、習慣づけていくことが非常に重要。人々の交流が始まると、習慣化が進みますし、健康への意識が高まります。そして、健康に対する意識の高まりは、活力あるまちづくりに繋がります。反対に体を動かさなければ、筋肉が痩せていくだけでなく、悪循環が始まり、健康リスクが高まっていくといった内容も盛り込んでいます。また、子供対象の教室では、年齢に応じた適切な運動や怪我をしない体づくりなど、どんな競技にも対応できるプログラムを用意しています。バランス感覚や敏捷性を培うために、遊びを含ませながら実施しています。自治体の方々には、ぜひ私たちに相談いただき、知見を活かしていただければ幸いです。



日本体育大学 教授 伊藤 雅充
※ニュージーランドよりオンラインで参加



日本体育大学 准教授 岩原 文彦

私たちが行っているアスリートセンタードコーチングとは、スポーツの指導において、アスリートを中心に置こうというもの。コーチの方針ありきではなく、アスリートの考えを尊重し、その主体性を前提として導いていくということです。これにより、人間的な成長を引き出しながら、一人ひとりの課題解決能力を向上させるようなコーチングができると考えております。いずれアスリートセンタードコーチングは、将来のスタンダードになっていくでしょう。

地域移行に向けた地域スポーツ指導者について

時代の要請に応えたコーチング学で、 地域社会にイノベーションを起こす

2023年度から3年間を目途に部活動の地域移行が本格的に始まります。身体活動を通じた青少年の健全育成、これはつねに日本体育大学の中心的課題であり、私たちの諸先輩方が担ってきた使命だと考えています。とはいえ、社会から求められる指導の在り方も変わってきています。本学は、時代を先取りしたコーチを育成するプログラムを立ち上げ、アスリートセンタードコーチングの普及に取り組み始めました。



日本体育大学 助教 矢野 広明

日本体育大学のコーチング学チームは、世界基準のコーチングをもとに構築されており、本学所属の多数のスポーツ医科学専門家、各種スポーツ専門家とつねに連携をとっています。また本学は幅広い学部で構築されており、身体にまつわる文化と科学の総合大学であります。この特性を基盤として、スポーツ指導者のコーチングスキル向上をサポートする際は、ニーズに沿ったテーラーメイドの施策を行っております。私たちが自治体の皆様に提供できるソリューションは、コーチの質を保証する育成方法です。本学の豊かな教育資源と部活動の地域移行、この2つの掛け合わせから、さまざまなイノベーションが生まれると考えております。

協賛企業

社会課題を解決する ソーシャルイノベーションで日本を元気に

東武トップツアーズ株式会社 取締役営業統括本部長
濱崎 真一 氏

東武トップツアーズは、旅行販売だけでなく社会課題を解決するソーシャルイノベーションにも取り組んでいます。そのひとつがワクチン接種業務で、LINEを活用した予約機能を導入した点に特徴があります。また、山梨県からご相談いただき、コロナ禍でも安全に食事や旅行を楽しんでもらうために、「グリーン・ゾーン認証」という制度づくりにも貢献しました。ほかにも北海道浦幌町と提携し、SDGsを学ぶ修学旅行の受け入れ先を開発いたしました。現在では都内高校生が修学旅行に行くコースが出来上がっております。この取り組みがきっかけで昨年は20代人口が34人増えたという浦幌町では画期的な効果もありました。Go To Eat事業では、これもまた



LINEを活用した申し込みの仕組みを作り、非接触でいつでも利用でき、1円単位で決済できるということで神奈川県では80万人の登録がありました。栃木県小山市ではコミュニティバスの定期券を電子化したことで一挙に利用者が増えた事例もあります。スポーツにおいてもデジタル化を進め、下関の国際マラソンでは顔認証システムを導入。さまざまな自治体の皆様にもご紹介をさせていただいております。政府が掲げるデジタル田園都市国家構想の実現のため、一般社団法人を設立し、当社が事務局として各自治体との架け橋を担っております。私どもは、日本を元気に、地域を元気に、ということで頑張っております。ぜひお近くの支店へお声がけいただければ幸いです。



特別ゲスト

スポーツの力が渦中の国民に
夢と勇気を与え、希望の光をもたらす

自由民主党 衆議院議員
二階 俊博 氏

新型コロナウイルスが世界中で感染拡大することによって、健康であることの大切さを改めて痛感しております。私たちは、国の重要政策として平成26年より地方創生に取り組んでおり、それに呼応するように日本体育大学では、自治体との連携協定事業が始動しました。まさにこの事業を通して、日本体育大学には、地方活性化のために努力していただいていると感じます。平均寿命世界一を誇る日本において、健康寿命を伸ばす日体大の取り組みは非常に立派な社会貢献であり、今後のさらなる取り組みにも大いに期待を寄せるものであります。阪神淡路大震災や東日本大震災のような大規模自然災害に見舞われた日本において、国民に勇気をもたらしてくれたのはスポーツの力であり

ます。長引くコロナ禍の中でも、多くの方々が夢と勇気もらい、希望の光を見出したのではないのでしょうか。日本体育大学は、身体にまつわる文化と科学の総合大学として、技能向上だけでなく集団の中での立ち居振る舞い、思考力や行動力、判断力など人間力のさらなる育成の場として大きな役割を果たしてこられました。日体大の理念が日本各地の先生たちを通じて大きく子供たちに伝わり育まれ、地域社会に根付いていることは、素晴らしい価値のあることであります。今後とも日本体育大学に対して、それぞれの立場から力強いご支援を心からお願いしてご挨拶とさせていただきます。



2022年度の活動例



学校法人日本体育大学を軸とした
ネットワークを構築し、
地域を活性化することで、
幅広く社会に貢献していきます

締結自治体(全国76の自治体)

2023年3月1日現在 ※締結順に掲載

- | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------------|-----------------|
| 美作市(岡山県) | 大山崎町(京都府) | 香美町(兵庫県) | 市川三郷町(山梨県) | 安芸高田市(広島県) |
| 愛知県 | 勝山市(福井県) | 徳之島町(鹿児島県) | 北杜市(山梨県) | 市町村行政振興協議会(長崎県) |
| 紀の川市(和歌山県) | 呉市(広島県) | 岩国市(山口県) | 米沢市(山形県) | 西宮市(兵庫県) |
| 泉佐野市(大阪府) | 柳井市(山口県) | 岩美町(鳥取県) | 三重県(地域連携部) | 水俣市(熊本県) |
| 北山村(和歌山県) | 阿南市(徳島県) | 品川区(東京都) | 新潟県 | 郡上市(岐阜県) |
| 小菅村(山梨県) | 中標津町(北海道) | 笠間市(茨城県) | 鳥羽市(三重県) | 四万十市(高知県) |
| 網走市(北海道) | 三種町(秋田県) | 狭山市(埼玉県) | 当別町(北海道) | 南陽市(山形県) |
| 江南市(愛知県) | みなべ町(和歌山県) | 中山町(山形県) | 東根市(山形県) | 諏訪市(長野県) |
| 駒ヶ根市(長野県) | 守山市(滋賀県) | 別府市(大分県) | 北部広域市町村圏事務組合(沖縄県) | 島田市(静岡県) |
| 七尾市(石川県) | 厚木市(神奈川県) | 宮古市(岩手県) | 戸田市(埼玉県) | 石川県 |
| 志賀町(石川県) | 南魚沼市(新潟県) | 始良市(鹿児島県) | 須崎市(高知県) | 大田市(島根県) |
| 島原市(長崎県) | 海士町(島根県) | 桶川市(埼玉県) | 中土佐町(高知県) | 東御市(長野県) |
| 中間市(福岡県) | 男鹿市(秋田県) | 常総市(茨城県) | 沼津市(静岡県) | |
| 氷見市(富山県) | 可児市(岐阜県) | 大子町(茨城県) | 東村山市(東京都) | |
| 神崎町(千葉県) | 東松島市(宮城県) | 藤井寺市(大阪府) | 幕別町(北海道) | |
| 上越市(新潟県) | 小田原市(神奈川県) | 都城市(宮崎県) | 下呂市(岐阜県) | |